



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第114号(2013年7月31日)



【カタールW杯の開催時期について】

カタールでのワールドカップ開催について、その気温の問題などから問題視する発言が続いていましたが、FIFAのブラッター会長はとうとう、公式の場で開催時期を冬にずらしたいと発言したようです。ブラッター会長によれば、10月に開かれるFIFAの会合の場で開催時期の変更について議論をしたいとのことでした。

カタールはスタジアムをエアコンで冷やすとしていましたが、以前から、スタジアムだけ冷やせばよいのではないという批判も出ていました。これを受けてブラッター会長も「スタジアムを冷やすことはできても、国を冷やすことはできない。」と発言したようです。なお、夏のカタールは気温が50度を超えます。

一方でカタール側の招致組織の責任者も、冬の開催には反対していません。今回も、FIFAなどが望むのであれば冬にずらすこともかまわないといった発言をしているようです。

現状のFIFAの規則によれば、開催時期をずらすとすれば、カタール側から申請しなければなりません。それに対して、今回招致できなかった各国は、仮にカタールが開催時期をずらすとしてきた場合は、当初の条件と異なるということを根拠として開催国決定の再投票を求めてくるかもしれません。また、冬に開催した場合欧州の各国のリーグのスケジュールともぶつかるため、こちらの調整も難航すると予想されています。5月にはブンデスリーガの関係者が、仮に冬の開催になってリーグ戦に影響が出た場合はFIFAを訴えるかもしれないと発言しています。

ブラジル大会についても会場準備の問題などが報道されていますが、カタールW杯の今後の展開についても非常に注目されます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【サウジアラビアで大型の地下鉄計画が発動】

足元の原油高も背景として、サウジアラビア政府はインフラ関連のプロジェクトに巨額の資金を投じています。そんな中で、今回は首都リヤドの地下鉄プロジェクトに総額225億ドルを投入することが発表されました。

プロジェクトは3つの外国企業によって主導され、2014年に建設が始まり、2019年には完成の予定です。6つの路線で合計176kmの計画とされています。

サウジアラビア政府によれば、現在開発中の公共輸送関連では世界で最大のプロジェクトだということです。

【ドバイの不動産開発業者に起債の動き】

わずか数年前に危機に陥ったばかりですが、ドバイの不動産業界の回復を示してか、起債の動きが出てきました。

従来は不動産開発プロジェクトの資金の大半は銀行融資で賄われていましたが、欧州の銀行などに中東からの部分的な撤退の動きなども見られ、一方でアラブ首長国連邦の中央銀行が銀行から政府系企業への貸し出しの比率を制限する動きが見られるなど、今後については銀行からの貸し出しに過度に依存することは難しくなってきたようです。

そのため、今後については債券市場が資金調達場として着目されると予測されています。

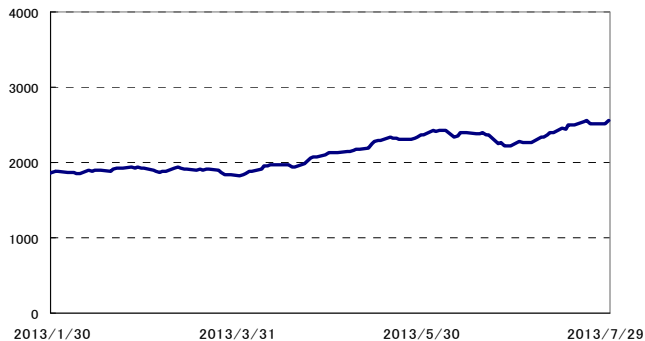


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

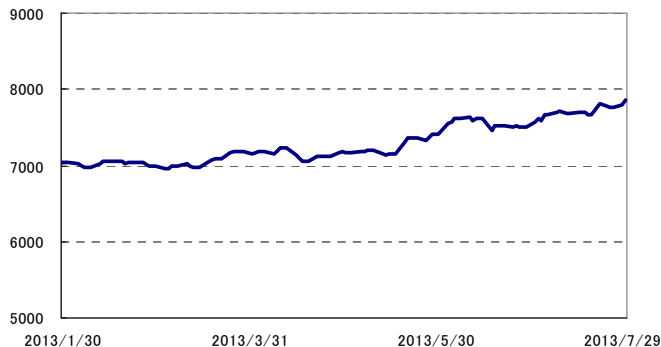


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

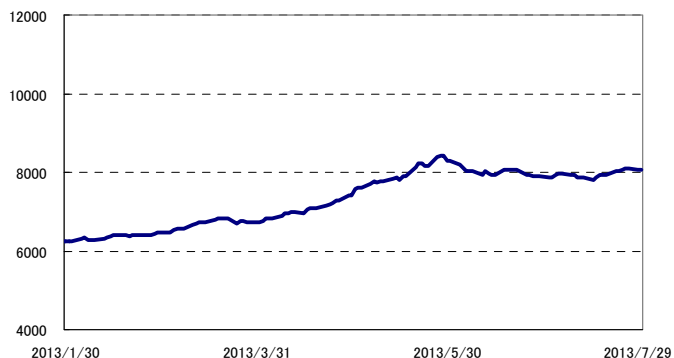
ドバイ金融市場総合指数



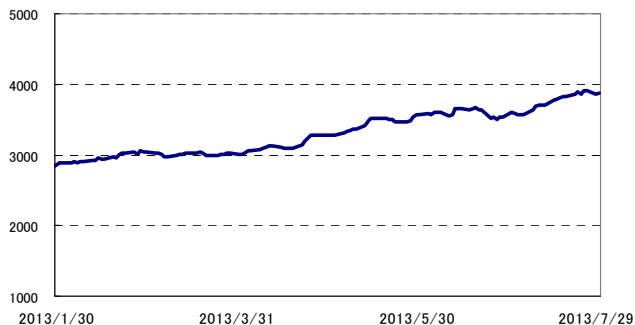
サウジアラビア タダウル全株指数



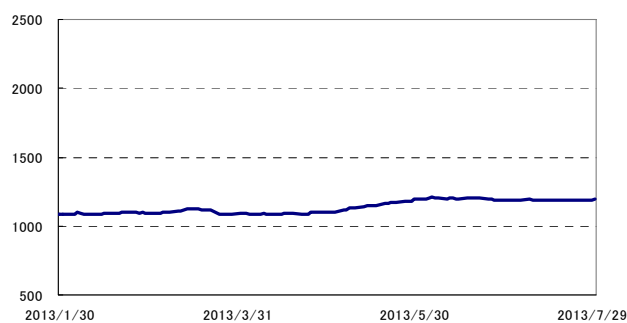
クウェート証券取引所指数



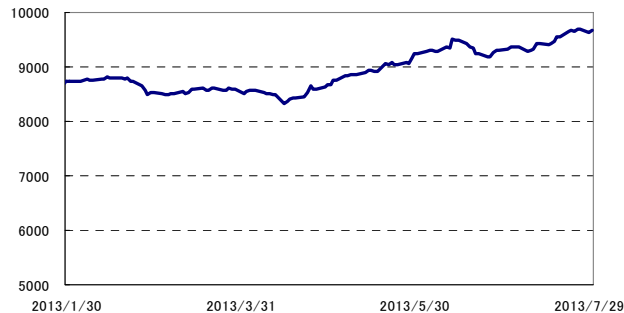
アブダビ証券取引所株価指数



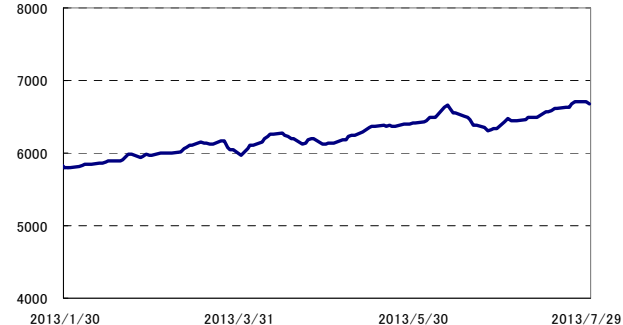
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。